

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 63

学校名・団体名	刈谷市立住吉小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	地域の歴史から未来の幸せを考える児童の育成

1 研究の目的

私たちは、地域にある素材について、親しみや慈しみといった愛着を抱く対象として「ふるさと」と呼ぶことにした。また「ふるさと」は現在にとどまらず、過去から現在、未来にわたって自分たちが生活している社会という広義のものとして捉える。

6年生は小学校最高学年である。最高学年として、住吉小学校を引っ張っていく立派な6年生になってほしいと考える。そこで、「ふるさと」の歴史から、人々の行動や信念を学び、今の刈谷があるのは、これまでの歴史があるからなのだと学ばせる。そこから、今の自分を見つめ、これからの自分の生き方、さらには、未来の幸せを考えさせたいと思い「ふるさとの歴史から、未来の幸せを考える」をテーマに取り組んでいくことにした。

2 活動報告

1学期『住吉歴史発見！～地域の歴史に目を向けよう』

☆「住吉学区の歴史を知ろう」山田孝先生

・学区に歴史があると思わなかったから調べてみたい

学区の歴史を調べよう

インターネット・中央図書館・お年寄りに聞く

・住吉学区は縄文時代から人が住んでいたんだね

☆重原探検 刈谷市文化観光課 長澤さん、河野さん 中条遺跡、浄福寺、重原城跡を見学する

・刈谷城ができるまでは、重原が刈谷・知立の中心だった

刈谷城の歴史について調べよう

DVD「よみがえる刈谷城」から学ぶ

刈谷城をペーパークラフトで作ろう

・刈谷城っていうけど天守閣があったわけではない

於大の方の生き方から学ぼう

DVD「徳川家康の生母・於大」からスローガンを考える

・有名な家康さんのお母さんは刈谷の人なんだ

☆「水野勝成の生き方から学ぼう」塚本芳浩先生

・かつなりくんって水野勝成さんのことなんだ

DVD「水野勝成物語」から学ぶ

☆高松探検へ行こう 山田孝先生

崇福寺、刈谷高校を見学する

・刈谷高校の門は、重要文化財になっている

歴史新聞にまとめよう

(1) 本物にふれる

安城市歴史博物館で、縄文土器や弥生土器を触ったり、学区の遺跡で実際に発掘したりした。また、天誅組の松本奎堂の絵や水野勝成の兜を市から借りてきて、説明を聞くとともに、触らせてもらった。



2学期『刈谷ヒストリーロマン～歴史を体感しよう』

修学旅行で見学する場所をミニ授業で紹介しよう
先生となって、他の子どもたちに授業として紹介する

・実際に、修学旅行で調べてみたいな

☆「天誅組の生き方から学ぼう」山田孝先生

・刈谷にも国をかえようとした人がいたんだね

☆「坂本龍馬の生き方から学ぼう」信原玲子先生

・日本をかえようとしたところは天誅組と同じだ

天誅組の志士の思いを想像しよう

DVD「幕末を駆け抜けた刈谷の志士たち」から学ぶ

・天誅組は、東吉野村の人からはどう思われていたのかな

修学旅行・東吉野村で遺跡にふれよう

☆「天誅組と東吉野村」阪本基義先生

・東吉野村の方はいつもお墓にきれいな花を供えてくれる

☆「伊藤三弥の生き方から学ぼう」山田基先生

・伊藤三弥は刈谷に恩返しをしていることが分かった

刈谷城周辺の探検へ行こう

郷土資料館、亀城公園、天誅組遺跡などを見学する

・身近なところに歴史があると思わなかった

学習発表会で伝えよう

今まで学んだ歴史をつなげてみよう

整理・分析し、歴史が今に伝わる理由を考える

・歴史はつながっているから語り継いでいこう

3学期『歴史から学んだことを生かそう』

授業参観デーで歴史を語り継ごう

保護者へふるさとの歴史をプレゼンテーションする

歴史を作ろう『絵巻物』に自分の生涯を表す

☆「西郷どんの生き方に学ぶ」西郷隆盛曾孫 西郷隆夫氏

・自分はどんなふう生きていこうかな

卒業プロジェクトで実行しよう

(3) 話を聞く

以下の先生方(活動順)に現地、もしくは、
学校に来ていただいております。

刈谷市文化財保護審議会会長 山田孝様

刈谷市文化観光課 長澤様 河野様

刈谷市立双葉小学校教頭 塚本芳浩様

三河龍馬会会長 信原玲子様

東吉野村元教育長 阪本基義様

刈谷市郷土資料館 山田基様

西郷隆盛 曾孫 西郷隆夫様(助成金活用)



(2) 現地に出向く

1学期は、学区の史跡、墓、寺などに出向いた。2学期の修学旅行では、維新の魁と言われている天誅組の志士(刈谷から3名が参加)が眠る霊山護国神社(助成金活用)を訪れた。また、今年度、天誅組終焉の地である東吉野村に行く機会をもらうことができた。そこで松本奎堂、宍戸弥四郎の墓にお花を手向けた。(助成金活用)



(4) 表現する(伝える)

調べたこと、聞いたこと、感じたことなどを掲示用新聞、他学年へのポスターセッション、保護者への授業形式の発表、全校児童と保護者への総合文化センターでの発表を、行った。図工では、仏像・勾玉・刈谷城を制作した。また、自分のこれまでと未来を見つめる自分史絵巻物(助成金活用)を作成した。

